

つやまっ子に贈る100冊の本



つやまっ子読書プランキャラクター「ぶっくちゃん」

共感できる体験が、そのまま物語に

推薦者

森安恵津子さん(小原)

『クワガタクワジ物語』
中島みち著(偕成社文庫)



コクワガタを捕まえた太郎くんの3年間の飼育体験とそれを見守るお母さんとのふれあ

いの物語。それが『クワガタクワジ物語』です。

去年の夏、子どもがクワガタをもらった時、この本を紹介してもらいました。読み始めたら一気に読んでしまい、太郎くんと同じように自分のクワガタにも「クワジ」と名付けるくらい、この物語が好きになりました。

子どもが最初に気に入った「とくべつな三日間」という章は、夏休みの最初の3日間は

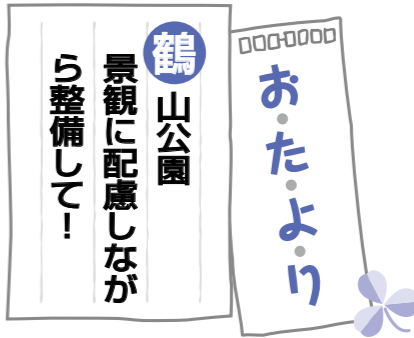
太郎くんが何をしても怒らないとお母さんが約束したお話。太郎くんは一番したかった真夜中の森へ虫を採りに行きます。そして、大自然の中で自由に飛び回る虫の世界に出会うことで、太郎くんは脈々と受け継がれてきた生命の重さを感じるのです。

子どもは、人懐っこいクワジの様子に「虫にも心があるのかな」と想像したり、お母さんの入院中に家族の支えとなったクワジに「小さな虫でも生き方を見せてくれるんだね」と感じたりしていました。こんなに親子で夢中になって読んだ本は初めて。実体験を通じて太郎くんに共感でき、心にすっと入ってくる物語です。



▲一冬を越えた「クワジ」と森安さん親子

鶴山公園東側の雑木林を間伐し、周囲を美化しているのに感心していました。しかし、地滑りを防ぐ樹木を切り倒し、城跡に不釣り合いなコンクリートのような擁壁やガードレールが見えます。もっと景観に配慮すべきではないでしょうか。(市内・男性)



鶴山公園は「日本さくら名所100選」「日本の歴史公園100選」「日本の名城100選」などに選ばれています。これからも優れた景観・環境を復元・保全し、一層皆さんに愛される公園になるよう整備していきます。



問い合わせ先 公園緑地課
☎32・2097

きらめく津山人

演奏できるよるこび、聴こてもらえるうれしさ

ダンチャイン演奏家

三船 ヴァンさん(田町)



ベトナムの伝統的な民族楽器である16弦琴・ダンチャイン。津山で演奏活動を続ける三船さんにお話を伺いました。

すてきな衣装ですね

これは「アオザイ」というベトナムの民族衣装で、ベトナムの女性は普段着ています。演奏する時は必ず着ることにしています。

ダンチャインとの出会いは?

私はベトナムで代々民族音楽を継承する家に生まれました。9歳になった時、父から何か楽器を始めるように言われ、いろいろな民族楽器の中から、音色

演奏するなど、充実した3年間を送ることができました。なぜ津山に?

その後、ベトナムに帰国し、昼は仕事、夜は演奏活動を続けていました。ベトナムに旅行に来ていた夫が私の演奏を聴いてくれたことがきっかけとなり、超遠距離恋愛に。平成18年に結婚して津山に来ました。津山でもいろいろ活動していますね

自分の大好きなダンチャインの演奏で皆さんが楽しんでくれてうれいすね。演奏会が決まると練習にも張りが出ます。実は、津山に来て最初の1年は演奏活動ができなくて、とても寂しかったのです。マネージャーをしてくださいっている小山保枝さんと出会えたことをきっかけに、多くの人に出会い支えてもらい、演奏の場がどんどん広がりました。本当にありがたく思っています。今では津山さくらまつりを始め、いろいろな場で演奏できるようになりました。どんな曲を演奏していますか?

演奏する季節と聴衆の年代を考慮して選んでいます。ベトナムと日本の曲どちらも曲目に入れています。また、会場の皆さん

がすてきで、弾いている姿も美しいダンチャインを選びました。子どものころは家族そろってよく演奏会をしました。演奏会では楽譜を見ないで演奏します。間違えると、父は「もつと覚えなさい」と言い、楽譜を見えないようにするため、練習中に部屋の電気を切りました。そのような父の厳しい指導のおかげもあり、平成8年にベトナム・ホーチミン市で行われた民族音楽コンクールでは優勝することができました。

その年、ベトナムを訪れたバイオリン演奏家・清水節子さんから「日本で演奏しましょう」と誘われました。その後1年近く悩んでいましたが、最初は反対していた父が「おまえは23歳になった。行っておいで」と私の背中を押してくれました。そして、平成10年に清水さんの元を訪ね、東京、大阪、神戸などと一緒に演奏し、オペラにも出



▲「故郷」を歌いながら演奏する三船さん

と一緒に歌えるように最後の曲目に「かあさんの歌」「故郷」など、誰でも知っている曲を入れます。

今後の活動は?

一人で演奏することが多いのですが、ほかの演奏家と一緒に演奏する機会も増やしたいです。いろいろな音が響き合うことで、もっと音楽を楽しめるし、自分自身も刺激を受けることができます。歌唱法も勉強したいです。また、唱歌や童謡など、古いけれど心に響く日本の曲を会場の皆さんと一緒に歌い続けたいです。

異国情緒の中に懐かしさを覚える音色。三船さんの演奏と優しい歌声には人を癒やす力があるようです。